

Ⅲ 未来へのまちづくりの振興

■食育の推進

【衛生費】(新規) 76万円
(健康長寿福祉部 健康推進課)

平成25年度に「京丹後の恵みに感謝！笑顔あふれる市民の食卓づくりをめざします」を基本理念とする『京丹後食育推進基本方針』を策定しました。

その方針に基づき、イベントや市ケーブルテレビ(長寿食レシピを利用した料理番組制作)の活用などにより、食育や地産地消への市民の理解を高め、生涯を通じた食育の実践につながる取り組みを推進します。



まるごと京丹後食育の日の様子

楽しく歩いて健康づくり!

■健康「楽歩里」事業化検討調査

【衛生費】(新規) 12万円
(健康長寿福祉部 健康推進課)



12コースを掲載した「京丹後市健康ウォーキングマップ」

健康づくりの3要素である「栄養・運動・休養」のうち、市民のみなさんが「運動＝歩く健康づくり」に取り組み、健康寿命を延伸するために、健康ポイント制度を取り入れた「歩く健康づくり」についての検討・調査を行います。

楽歩里(がっぼり)▶①地元(里)の景観を楽しみながら歩いてほしい。②歩くことにより得られるポイントを「がっぼり」と貯めていただき、まちづくりなどに還元してほしい。という2つの意味があります。

市民の健康づくりを進めます

■「健康づくり推進員」の活動支援

【衛生費】 116万円
(健康長寿福祉部 健康推進課)

市民の「自らの健康は自ら守る」意識を高め、地域での積極的な健康づくり活動の推進役として、健康教室をはじめ、各種イベントにおいて検診受診の啓発キャンペーンに取り組んでいます。

今年度は、ウォーキングマップを活用した事業などを実施します。

- 健康づくり推進員 223人(平成26年2月末)



地区健康教室の様子

■老人クラブ活性化支援補助金

【民生費】 929万円
(健康長寿福祉部 長寿福祉課)

老人クラブは、地域支え合い事業、健康づくり事業、会員加入促進事業など、幅広い活動を展開しています。老人クラブ活動を活性化することにより、地域で安心して生き活きと暮らすことができる健康長寿のまちづくり実現のため補助金を交付します。

〈平成26年3月末現在〉

- 老人クラブ数: 106

- 会員数: 2,785人



清掃奉仕活動の様子

■(仮称) 弥栄統合保育所・幼稚園整備

【民生費】(拡充) 8億2,905万円
(教育委員会事務局 子ども未来課)

保育所再編等推進計画に基づき、平成27年4月開所を目指し、和田野、鳥取、黒部、溝谷、吉野の5保育所を統合し、合わせて幼稚園並びに子育て支援センターを一体的に整備します。

建設用地については、地元の意見を聞きながら鳥取小学校横の市有地としており、木造瓦葺平屋建ての建物に、ソーラーパネルを設置します。



完成イメージ

■教育支援センターの運営

【教育費】 891万円
(教育委員会事務局 学校教育課)

教育支援センター「麦わら」では、心理的要因などにより不登校となっている、またはその傾向にある児童生徒に対し、在籍校との連携のもと、集団生活への適応、情緒の安定、基礎学力の補充、基本的な生活習慣の改善を、個々の状態に応じて段階的に支援します。あわせて、児童生徒だけでなく、保護者や教職員に対する教育相談業務も行っています。

また、カウンセリングの専門的知識を有する臨床心理士が、アドバイスや助言を与える教育相談を月2回実施しています。

- 開設場所 峰山織物センター内
- 電話番号 69-0625
- 開設日 月～金曜日(祝日、年末年始を除く)
- 開設時間 8時30分～16時30分(児童生徒の利用時間 9時～14時)



京丹後市教育支援センター

■小中一貫教育の推進

【教育費】 191万円
(教育委員会事務局 学校教育課)

平成24年11月に策定した「京丹後市の学校教育改革構想」に基づき、子どもたちの育ちと指導の一貫性を目指したより良い教育の実現に向け、小中一貫教育研究推進協議会や学校教育連携専門部会で協議・調査研究し、小中一貫教育の推進状況の検証や課題の整理、改善方法の検討などを進めます。

また、「小中一貫教育推進基本計画」や「小中一貫教育モデルカリキュラム」を作成するほか、峰山・網野以外の4中学校区を導入準備校に指定し、平成28年度を目途に全ての中学校区で小中一貫教育を目指します。



合同であいさつ運動をする小中学生

地域に開かれた学校づくり

■学校支援地域本部の運営

【教育費】 515万円
(教育委員会事務局 社会教育課)

学校支援地域本部は、さまざまな特技や技能をもった地域の方に、学校支援ボランティアとして登録していただき、学校の求めに応じて登録しているボランティアを派遣し、学校で学習支援やクラブ活動支援などの活動を行います。

現在は、427人がボランティアとして登録しています。



ボランティアによる浴衣の着付け支援

京丹後市教育振興計画を策定します

■京丹後市教育振興計画の策定

【教育費】 192万円
(教育委員会事務局 教育総務課)

平成25年度から、教育のまちづくりを進めるため、京丹後市教育の基本理念や基本施策を定める「京丹後市教育振興計画」の策定に取り組んでいます。平成27年度から10年間の計画期間として、平成26年度中に計画を策定することとしています。



第3回京丹後市教育振興計画策定委員会の様子

カヌーを通して本市の魅力を全国に発信します

■全国高等学校総合体育大会開催に向けた準備

【教育費】(新規) 216万円
(教育委員会事務局 社会教育課)

平成27年度全国高等学校総合体育大会カヌー競技が久美浜湾カヌー競技場で開催されるため、京都府高等学校体育連盟とともにカヌー競技の事務局を設置し、大会に向けた諸準備を進めます。



平成21年度全国高校総体の様子(久美浜カヌー競技場)

■小・中学校スクールサポーターの設置

【教育費】(拡充) 9,555万円
(教育委員会事務局 学校教育課)

特別な支援を要する児童生徒の指導計画を作成し、個々に応じた指導を計画的・継続的に実施するため、介護職員を配置します。また、学校再配置、学校連携、小中一貫教育など、円滑な教育活動を推進するとともに学校経営の安定を図るため、必要な学校に教員資格のある講師を配置します。

中学校では、生徒が持つ悩みや不安を和らげ、心にゆとりを持つことができるよう支援するため、全ての中学校に相談員を配置します。

配置人数: 小学校33人・中学校16人



スクールサポーターによる授業支援の様子

地域コミュニティ活動の充実・強化のために

■市民協働のまちづくり事業補助金

【総務費】 1,600万円
(市民部 市民協働課)

地域コミュニティの充実及び強化を図るため、地区等が行う地区所有施設の整備(1件あたりの事業費が3万円以上100万円未満のもの)や村づくり・地域づくりなどに要する経費に対して補助金を交付し支援します。



平成25年度にリフォームした吉沢公民館談話室(弥栄町吉沢区) ※量からフローリングに改修